

会 議 録

会 議 名	令和4年度第1回戸田市障害者施策推進協議会			
開催日時	令和4年7月26日（火） 午後2時～午後3時50分			
開催場所	戸田市役所5階 大会議室A			
会長氏名	田中 恵美子			
委員出欠席	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> <small>たなか えみこ</small> 田中 恵美子 会長 <input type="checkbox"/> <small>くぼた みずこ</small> 窪田 瑞子 委員 <input type="checkbox"/> <small>いなべ ちゅうけい</small> 稲辺 忠奎 委員 <input type="checkbox"/> <small>はまだ ちな</small> 浜田 知奈 委員 <input type="checkbox"/> <small>こばやし かなこ</small> 小林 加名子 副会長 <input type="checkbox"/> <small>いの まゆみ</small> 猪野 真由美 委員 <input type="checkbox"/> <small>さくらい さとし</small> 櫻井 聡 委員 </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <input checked="" type="checkbox"/> <small>こやま まさひこ</small> 小山 昌彦 委員 <input type="checkbox"/> <small>さとう たかのぶ</small> 佐藤 太信 委員 <input type="checkbox"/> <small>おおいで むつこ</small> 大出 睦子 委員 <input checked="" type="checkbox"/> <small>かわかみ さちこ</small> 川上 幸子 委員 <input type="checkbox"/> <small>はやかわ かずお</small> 早川 和男 委員 <input type="checkbox"/> <small>いしづか ただお</small> 石塚 忠雄 委員 </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> <small>わたなべ かずみ</small> 渡辺 一実 委員 <input type="checkbox"/> <small>ともさか ともこ</small> 友坂 友子 委員 <input type="checkbox"/> <small>やぐち たかゆき</small> 矢口 隆行 委員 <input type="checkbox"/> <small>まつやま ゆき</small> 松山 由紀 委員 <input checked="" type="checkbox"/> <small>はいじま まゆみ</small> 葩島 麻弓 委員 <input type="checkbox"/> <small>よこやま まさあき</small> 横山 正明 委員 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">※ <input type="checkbox"/> 出席 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 欠席</p> <p>※謝礼の支出について 除外（辞退）：松山委員、早川委員、櫻井委員、猪野委員 浜田委員、窪田委員</p>	<input type="checkbox"/> <small>たなか えみこ</small> 田中 恵美子 会長 <input type="checkbox"/> <small>くぼた みずこ</small> 窪田 瑞子 委員 <input type="checkbox"/> <small>いなべ ちゅうけい</small> 稲辺 忠奎 委員 <input type="checkbox"/> <small>はまだ ちな</small> 浜田 知奈 委員 <input type="checkbox"/> <small>こばやし かなこ</small> 小林 加名子 副会長 <input type="checkbox"/> <small>いの まゆみ</small> 猪野 真由美 委員 <input type="checkbox"/> <small>さくらい さとし</small> 櫻井 聡 委員	<input checked="" type="checkbox"/> <small>こやま まさひこ</small> 小山 昌彦 委員 <input type="checkbox"/> <small>さとう たかのぶ</small> 佐藤 太信 委員 <input type="checkbox"/> <small>おおいで むつこ</small> 大出 睦子 委員 <input checked="" type="checkbox"/> <small>かわかみ さちこ</small> 川上 幸子 委員 <input type="checkbox"/> <small>はやかわ かずお</small> 早川 和男 委員 <input type="checkbox"/> <small>いしづか ただお</small> 石塚 忠雄 委員	<input type="checkbox"/> <small>わたなべ かずみ</small> 渡辺 一実 委員 <input type="checkbox"/> <small>ともさか ともこ</small> 友坂 友子 委員 <input type="checkbox"/> <small>やぐち たかゆき</small> 矢口 隆行 委員 <input type="checkbox"/> <small>まつやま ゆき</small> 松山 由紀 委員 <input checked="" type="checkbox"/> <small>はいじま まゆみ</small> 葩島 麻弓 委員 <input type="checkbox"/> <small>よこやま まさあき</small> 横山 正明 委員
<input type="checkbox"/> <small>たなか えみこ</small> 田中 恵美子 会長 <input type="checkbox"/> <small>くぼた みずこ</small> 窪田 瑞子 委員 <input type="checkbox"/> <small>いなべ ちゅうけい</small> 稲辺 忠奎 委員 <input type="checkbox"/> <small>はまだ ちな</small> 浜田 知奈 委員 <input type="checkbox"/> <small>こばやし かなこ</small> 小林 加名子 副会長 <input type="checkbox"/> <small>いの まゆみ</small> 猪野 真由美 委員 <input type="checkbox"/> <small>さくらい さとし</small> 櫻井 聡 委員	<input checked="" type="checkbox"/> <small>こやま まさひこ</small> 小山 昌彦 委員 <input type="checkbox"/> <small>さとう たかのぶ</small> 佐藤 太信 委員 <input type="checkbox"/> <small>おおいで むつこ</small> 大出 睦子 委員 <input checked="" type="checkbox"/> <small>かわかみ さちこ</small> 川上 幸子 委員 <input type="checkbox"/> <small>はやかわ かずお</small> 早川 和男 委員 <input type="checkbox"/> <small>いしづか ただお</small> 石塚 忠雄 委員	<input type="checkbox"/> <small>わたなべ かずみ</small> 渡辺 一実 委員 <input type="checkbox"/> <small>ともさか ともこ</small> 友坂 友子 委員 <input type="checkbox"/> <small>やぐち たかゆき</small> 矢口 隆行 委員 <input type="checkbox"/> <small>まつやま ゆき</small> 松山 由紀 委員 <input checked="" type="checkbox"/> <small>はいじま まゆみ</small> 葩島 麻弓 委員 <input type="checkbox"/> <small>よこやま まさあき</small> 横山 正明 委員		
事務局	健康福祉部 川上次長 障害福祉課 谷島課長 寺本主幹 杉浦主任 坂口主事			
議 事	(1) 戸田市障がい者総合計画に係る令和3年度における実施状況について (2) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について			
会議結果	別紙、会議の経過のとおり			
会議録確定	令和4年8月26日 会長氏名 田中 恵美子			

会議の経過

会議の進行・発言内容・決定事項	
1. 委嘱状交付式開会	
事務局より、開会が宣言された。	
2. 委嘱状交付	
代表として前会長である学識経験者の田中委員に健康福祉部長から委嘱状が交付された。	
3. あいさつ	
健康福祉部長	部長あいさつ
1. 戸田市障害者施策推進協議会開会	
事務局より、開会が宣言された。委員19名のうち3名欠席、16名の出席のため、過半数に達し、本協議会が成立することが確認された。 委員と事務局の自己紹介。	
2. 会長及び副会長の選出	
委員の互選により学識経験者である田中委員が会長に、副会長にあすなる学園選出の小林委員を副会長に決定となる。	
3. あいさつ	
会長	会長あいさつ
会議の進行・発言内容・決定事項	
1. 開会	
事務局より、開会が宣言された。	
2. あいさつ	
会長	会長あいさつ。
3. 議事	
(1) 議題1 戸田市障がい者総合計画に係る令和3年度における実施状況について (参考資料1、資料1、資料2)	
事務局	戸田市障がい者総合計画に係る令和3年度における実施状況について (参考資料1、資料1、資料2)を用いて説明。
委員	参考資料1 戸田市 障害者支援協議会組織 体系図の中で、施策推進協議会で協議する主な内容の中に、手話言語条例に関することが記載されていない。

事務局	直接明記はしていないが、「その他、障害者施策の推進」として協議事項に含まれていると解釈いただきたい。
委員	手話言語条例が令和3年4月1日に施行されている。 施行以来、協議の場が設けられていないが、その有効性について不安になるので、少なくとも年に1、2回は協議を実施していただきたい。
事務局	手話言語条例の制定にあたって、別の会議体にて協議を行っているが、内容を見て検討したい。 また、全体を含めて協議していくものであるもので、施策協議会の中でも、今後手話言語条例の件も含めて協議していければと思う。
会長	本件は通し番号19に関連するが、協議事項があれば、本協議会でも議題として取り扱うでいいか。
事務局	はい。
委員	通し番号10の③「体験の機械」とはどのようなことか。
事務局	資料の記載が誤っており、正しくは「体験の機会」である。地域生活支援拠点における「体験の機会」は、障害のある方が、親亡き後を見据え、グループホーム等を利用した生活を体験することを意味している。
委員	2点質問がある。 1点目が通し番号4の障がいのある人への虐待対応について、実施状況の中に令和3年度の虐待通告事案は4件（通報は10件）と記載がある。この6件は虐待と判断されていないのか、なぜ6件が対象外となったのか、またアフターフォローについてはどのようになされたのか。 2点目が通し番号18のユニバーサルデザインのまちづくりについて、実施状況の中に「公共施設の設計、工事において、施設の用途、特性をふまえ可能な限りユニバーサルデザインの採用を行った」とあるが、以前に、戸田市文化会館の改修の際に、担当課がその設計について、施策推進協議会に意見を諮ったことがあったが、身体障害者福祉会の中で視覚障害のある方が現地視察に行き、変えてほしい事項について、いくつか意見を申し上げたが、大規模な改修はできず、簡易な改修に留まる結果となった。そういった経緯から、今後大規模改修や建て替えの事案が出てくることに備えて、設計段階から、施策推進協議会に早くに図っていただき、委員や障害当事者達の意見が反映される仕組みづくりを行っていただきたい。
事務局	1点目 虐待通告事案4件以外の6件については、すべて警察からの通報票の受付となっている。警察が通報する際は、障害者手帳の確認ができなくとも、障害があると疑われるものについては障害福祉課に通報

	<p>するものとされている。そのため6件については、障害福祉課でかわりのない方のケースであった。また通報内容を確認した際、緊急性や、保護の必要性がないと判断されるものもある。</p> <p>ただし、これらについても、受付後、対象者やケースに応じて、配偶者暴力防止センターや、こども家庭支援室、相談支援事業所等、関係機関に情報提供を行い、一定期間経過を確認している。</p> <p>2点目 ユニバーサルデザインのまちづくりについての質問だが、担当課となる資産経営課に話をし、今後どのようにしていけるか、検討したいため、本件は持ち帰らせていただきたい。</p>
委員	<p>2点意見がある。</p> <p>1点目は、通し番号10の地域生活支援拠点の整備に関連すると思われるが、現在「移動支援」のサービスは、通所、通学については利用できないこととなっているが、通所や通学こそ、地域で暮らすために支援が必要なのではないか。一人で通所できない障害者は、保護者が送っていくか、送迎を実施している通所事業所を利用しなければならなくなっていて、それが制限となり、行動範囲が狭まっている。</p> <p>親なき後の話もあったが、いつまでも親が送り迎えするのではなく、地域で頼るべきところを頼って生活できることが、安心な地域生活につながるのではないか。この点は多くの保護者が望む声を聞いている。</p> <p>今後協議検討として、自治体で新しい移動支援の制度を検討いただければ、本人も保護者も安心して地域で暮らしていけると思う。</p> <p>2点目は、通し番号19のコミュニケーション手段の充実や、通し番号21選挙などへの参加に関連するが、先日、知的障害で自閉症を持つ息子と選挙に行った際、息子は一般的なコミュニケーションが難しく、選挙委員の方もどのように対応すればいいか戸惑う様子であった。例えば、障害者の状況に応じて、絵カード等で対応していただくなど、対応方法を検討いただければというのと、選挙に行く側もそれが事前にわかっていると安心できると思う。</p>
事務局	<p>移動支援の通所通学への利用については周りの市を参考にしながら検討していければと思う。</p> <p>コミュニケーションについては、選挙の関係ではないが、コミュニケーションボードを作っているため、今後選挙等にも活用できるか検討していればと考えている。</p>
委員	<p>移動支援の制度については、身体介助あり・なしという種類があり、ヘルパーへの報酬が違ってくる。そのため、報酬が低い身体介助なしの移動支援ができるヘルパーが見つからないといった現状と課題があることも検討事項に加えていただきたい。</p>

	<p>通し番号2の相談支援体制の充実について、主な事業として、相談支援事業の増設について記載されているが、今後どのように想定しているかお聞きしたい。</p> <p>通し番号8の福祉施設の入所者の地域生活への移行に関連するが、市内グループホームに不足があり、戸田市の方が戸田市で暮らせないといった現状がある。市内グループホームの設置について相談をしたところ断られてしまったという事業所の声をきいたことがある。その他の障害福祉サービス事業所について、相談員が不足を感じていても、設置が認められないケースもあると聞いている。施設整備について、どのような基準をもっているのかお聞きしたい。</p> <p>また通し番号10の地域生活支援拠点の整備についての補足となるが、5つの機能のうち3つの機能が、基幹相談支援センターの設置により暫定的に整備されているという説明を頂いたが、実際にそれらの機能を基幹相談支援センターのみで担うのは難しく、いろいろな事業所に担っていただくための旗振り役として、働きかけをおこなっている。また緊急対応の機能への関心が高く、重要な事項となっており、障害福祉課と協力しながら対応について協議を進めている。</p>
事務局	<p>移動支援の身体介護の有無について、心情的には身体介護有りにできればとは思いますが、条件が決まっており、その点は周りの市を参考にしていきたい。</p> <p>相談支援事業所の増設については、3地区を2事業所で対応していただけであるので、増設については、現状で様子を見ていければと考えている。</p> <p>グループホームは特にそのような設置を断るような基準を設けていないので、そのような事例はないのではと考える。</p> <p>児童発達支援事業所や放課後等デイサービスの事業所については、事業所からの設置希望はいくつかあるが、計画の数値を基準として、すべて認めているというわけではなく、医療的ケアの必要な方を受け入れることが可能な事業所等、優先順位をつけさせて対応させていただいている。</p> <p>緊急時の対応については、自立支援協議会を主体に、今後とも地域生活拠点の整備について検討していければと考えている。</p>
委員	<p>通し番号10の地域生活支援拠点について、まだ現場での理解が進んでおらず、具体的な話ができない。どういったヴィジョンで、どういった整備がされていくのか、現場の人間はどういったことができるのか、分かるように周知してもらえればと思う。</p> <p>通し番号14の障がい者雇用への支援について、収穫祭等のイベントで福祉作業所の商品を販売等により作業を知ってもらい、とあるが、売り</p>

	<p>物を持っている事業所は市内ではごく少数である。利用者に対し、工賃をもっとお支払いしたいが、ノウハウがなく、課題だと感じている。企業や行政に相談に乗っていただきながら相応の工賃がお支払いできるような仕事が提供できるよう、考えられる機会を頂けるとありがたい。</p> <p>通し番号 16. 17 の災害時における情報提供、福祉避難所の充実について、わかくさも障がい者等の要配慮者の受け入れる協定を結んでいるが、いざ避難所を開設となった時に十分に準備できていないのが正直なところである。先の台風 19 号の際は避難したくてもできず、自宅にいたという方がたくさんいたという。いざとなった時にどう動くのか、十分に伝わり切れていない、まだまだ不安が解消できていない状況である。具体的にそれぞれの障がい者に対応した避難方法、防災準備について、一緒に考えていければと思う。</p>
事務局	<p>地域生活支援拠点については、新しく施設を作ることより、すでにある資源を活用しながら、地域とのつながりや体制を構築していくよう、自立支援協議会を中心に検討を重ねている。</p> <p>就労の関係については、就労推進部会を活用し検討を進めていければと考えている。先日、市外の就労継続支援 B 型作業所の好事例の視察会を行った。コロナ禍で来れなかった市内事業所もあったが、他事業所の話を聞き、参考にしていければと思う。</p> <p>避難所の関係については、危機管理防災課と検討を進めていきたいと考えており、進捗があれば施策推進協議会や自立支援協議会にて共有を図りたい。</p>
委員	<p>町会では「おねがい・まかせて会員避難支援制度」というシステムがあるが、支援が必要な方が登録する「おねがい会員」の登録者数が少ない。大いに活用いただければと考えている。</p>
委員	<p>通し番号 25. 26 の療育・保育・教育の施策についてであるが、例えば、令和 4 年度の予定について、保育幼稚園は、特別支援保育実施園を巡回し、現状の確認等をし支援を行うとある中で、気になる園児が増えているため、迅速に対応することが難しい、とあったり、教育総務課は、個別相談を希望する保護者が年々増加しており、対応する相談員の業務量も増加していると記載している。また、児童発達支援を行う事業所や、保育所等訪問支援のサービスの利用も増えていると聞く。</p> <p>このような状況を踏まえ、発達障害を持つ子やグレーゾーンである子等について、教育と福祉の連携であったり、各支援機関の繋がりについて、もっと話し合える場を設けるべきではと考えている。</p>
委員	<p>障がいをもった方は、特にその必要性が高いと感じていると思う。幼児から成人になり社会に出るまで、切れ目のない支援が大事だと考え</p>

	<p>る。そういった意味でも、あすなろ学園が支援の対象を小学校1年生まで広げたことは、切れ目のない支援を行う上でとても必要なことであると思う。教育部門と福祉部門等の各機関が連携し、チームになって支援をしていくことが重要だと思う。</p>
事務局	<p>一昨年は2回、昨年度は1回だが、障がい児の切れ目のない支援のため、障がい児支援にかかる担当者会議を実施している。参加機関は、保育幼稚園課、こども家庭支援室、児童青少年課、福祉保健センター、教育センター、あすなろ学園、障害福祉課である。</p> <p>内容は、相談したいことがあった際に、どこに相談したらいいかわからないといった声があるため、状況に応じて相談先がわかる案内の作成等を検討したり、障がい児が利用できるサービスについて説明し、情報共有を図り、スムーズな案内ができるように協議している。</p> <p>今年度においても、引き続き実施していく予定である。</p>
(2) 議題2 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築について	
事務局	<p>精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築について（資料3、資料4）用いて説明。</p>
会長	<p>戸田病院はこのことについてどうか。</p>
委員	<p>この内容で進めて良いと思う。</p>
委員	<p>家族が大きな手術をし、車いすを使用している。リハビリ後、退院に伴い生活に様々な用具が必要となった。その際、障害福祉課から用具の助成を受けることができた。制度を使えない人が困っているのではないか。</p>
事務局	<p>身体障害手帳等の要件に満たさない用具の助成の対象外についてのご意見であり、今回の議題（精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築について）には、直接は関係ないが、お答えする。</p> <p>用具については、補装具と日常生活用具がある。補装具は県や国で要件・基準額等定められており、埼玉県の評定を受けないと支給ができない。要件に満たない方については、随時県に相談をしている。日常生活用具については各自治体で定められている用具の支給である。自治体によって取り扱っている用具や要件が異なるため、戸田市としても近隣市参考にしながら要件等の検討をしたい。</p>
委員	<p>家族会にて、精神障害者が家族に複数名いる場合に、グループホームや自宅かなど今後の生活について悩んでいる方がいる。また、障害者の親の認知症が進んでおり、どこに相談をすればいいかわからないということも聞く。そのような場合に相談できる機関の周知をお願いしたい。</p> <p>また、身体障害者手帳や療育手帳はタクシー券の対象であるが、精神保健福祉手帳は、対象外であるため、検討してもらえないか。</p>

事務局	<p>相談先について、市ホームページや窓口にて、基幹相談支援センターや委託の相談支援事業所の相談先の案内を行っている。今後も周知に努めて参りたい。また、市役所への相談も可能である。各お住まいの地区ごとに担当のケースワーカーがいるため、先にこちらに相談にさせていただいて構わない。今後の生活について、関係機関と一緒に考えていきたい。</p> <p>タクシー券については、課内で検討を行う。</p>
委員	<p>家族会随時会員の募集をしているが、人が集まりにくい状況である。家族会の存在を知らない方もいる。</p> <p>相談先があるということは安心した。</p>
事務局	<p>窓口にて、家族会の問い合わせがあった際には、パンフレットを案内している。今後の周知に努める。</p>
委員	<p>資料4について、評価方法についてもう少し具体的にした方がよいのではないか。</p>
事務局	<p>国の手引きを参考にしながら作成したものである。</p> <p>評価方法については、検討したい。</p>
<p>4. 閉会</p>	
<p style="text-align: right;">以上</p>	